不可思议・・・日本
～收礼还礼～

当习惯了日本的生活后，中国人杨女士给总是对自己很热情的日本朋友送了一份礼。然而，没过几天，对方就送了一盒点心过来，明显是还礼，这很出乎杨女士预料。本来是想借礼物表达渴望更进一步加强彼此间友情的心意，这样一来似乎被对方给拒绝了，杨女士好像受了打击。大家是否也有过类似的经历呢?

听说在中国，很少会接受他人礼物后立刻还礼，而是接受对方托付在礼物中的那份情谊，并且在来日方长的交往中通过各种形式返还给对方，从而在日久天长中逐渐加深友谊。

相反，在日本，要是接受了他人赠送的钱物，很多人都会回赠对方物品作为还礼，这才是日本被称为「お返し」。越是年纪大的人，就越有把接受他人物品后还礼这种行为视作礼尚往来的倾向。如果不还礼的话，就会感觉好像没有做完作业，总是有一件事情挂在心上。

那么，大家是否知道日本有一种“分赠物品”的习惯。在我还是小孩子的五十年前，住在我家附近的阿姨常常会用一个小碟子盛装一些小菜儿，送到我家，并说“只不过是一点点小心意而已。”而母亲则会让对方稍稍等一下，并且快捷地将小碟子洗净，然后拿一盒火柴（以前家家都有火柴。火柴棒前端的硫磺用日语说是“いおう＝祝う”，取其谐音，被认为很吉利）放在碟子上还给对方。要是换一个时间另外送礼的话，恐怕一盒火柴是不够的。因此可以说，这也是为了让收礼的人当场就把

？ハテナ？にっぽん
～贈り物へのお返し～

日本での生活に慣れてきた頃、中国人の楊さんは、いつも親切にしてくれる日本人の知人に贈り物をしました。ところが何日か経ったある日、その知人から菓子折りが届けられました。明らかに返礼の品です。楊さんにとっては思ってもいなかった事でした。これから先、もっと親しくなりたいと思って贈った自分の気持ちが、押し返されたように感じて、ショックだったそうです。みなさんにもこんな経験がありますか。

中国では贈り物を受け取って、すぐに返礼することは稀だと聞いています。贈り物という形で受け取ったその恩を、長い付き合いの中でいろいろな形で返していく、その積み重ねこそが友情を育む過程なのだとも聞きました。

一方、日本では、人から物やお金を贈られたときに、返礼としてその人に物を贈ることが多く、これを「お返し」といいます。年配の人ほど、贈り物に対してはお返しするのが礼儀だと考える傾向があります。お返しをしないでいると、まるで宿題をやり残しているかのように気にかかるものです。

ところで、身近な贈り物である「おすそわけ」をご存じですか。私がまだ小さな子供だった半世紀前、近所のおばさんがよく手料理を小鉢に入れて、「ほんの少しだけど、おすそわけ」と言って届けてくれました。玄関先でおばさんが待っている間に、母はそそくさと小鉢を洗い、その中に小さなマッチ一箱（昔はどの家庭にもあった。先端の硫黄はいおう＝祝うに転じて縁起がよいとされた）を入れてお返ししていました。改めてお返しとなると、マッチ一箱では済まなかったでしょう。その場でやりとりが完結するので、お互いにとって便利な面

欠下的人情还清，以免给对方带来负担。除了火柴以外，八裁白纸（かみ＝通神）或日用品也可以作随手回赠。不过现在，用火柴或八裁白纸来还礼的人倒真是没有了，取而代之的是点心等小吃食。

据说日本人相互赠送物品的习俗可以追溯到从前将供神的“祭品”拿来大家轮流分吃的习惯上。那时候，将分得的东西拿出一部分返还回去，渐渐演变成「お返し」的习俗，并沿传到后世。

言归正传。现在在日本，每年有两个赠礼的时节，即 12 月的岁暮和 7 月的中元。接到赠礼的人，如果觉得自己也给送礼的人添麻烦了，一般都会回赠。至于回赠品的价格，有一种说法是为所接受赠礼的一半，也有人认为回赠品的价格最好不要高出对方寄赠物品的价格。

があったかもしれません。マッチの他に、半紙（かみ＝神に通じるという説）や日用品も使われました。今では、さすがにマッチや半紙を差し出す人はいないでしょうが、これに代えて、お菓子など心ばかりの物をお返しにする人は多いと思います。

そもそも日本での贈り物の起源は、神様へ「お供え」していた食べ物を、みんなで廻して食べ合った習慣にあると言われています。そこで、受け取った物の一部を返すことが、「お返し」というしきたりとなって、後の世にまで伝わったという説があります。

さて、現在に話を戻すと、日本では年 2 回贈り物が盛んな季節があります。12 月のお歳暮と 7 月のお中元の頃です。贈物をもらった人が、贈ってくれた相手に対し、自分のほうもお世話になったと思う場合、お返しをするのが一般的です。お返しの品の価格は、一説には贈られたものの半分程度でよいともいわれますが、頂いた物より高くなければよいと考える人もいます。

已成为定式的回赠例：

（附上礼签纸，并写上下述字句）

- 名目为结婚、出生贺礼的 → **内祝い**
- 名目为葬礼奠仪的 → **志**
- 名目为探病的 → **快気祝い**

慣習化したお返しの例

（のし紙をつけて、次のような言葉を書き入れる）

- 結婚式、出産祝いに対し → **内祝い**
- お葬式の時の香典に対し → **志**
- 病気のお見舞いに対し → **快気祝い**

近来，左邻右舍的交往变得很淡薄；此外，越来越多的年轻人好像认为应该废除寄赠岁暮及中元这种繁文缛节的习惯，因此，说不定今后「お返し」的习惯会渐渐地消失。

就在我这么想的时候，老家的亲戚给我寄来了岁暮慰问品，怀旧的心情油然升起。这么说，我该回赠对方什么东西好呢・・・・・・。

(H)

昨今では、ご近所付き合いそのものが希薄になりました。また、お歳暮やお中元のような儀礼的な習慣は止めたほうがよい、と考える若者も増えているように思います。これから先、「お返し」の習慣も徐々に消えていくかもしれませんね。

そんなことを考えていた矢先に、田舎の親類からお歳暮が届きました。懐かしさが胸の中に広がります。さてと、お返しは何がいいかしら…。

(H)